



保育現場「新しい生活様式」模索

保育現場「新しい生活様式」模索

健やかな成長⇔感染リスク ジレンマ



感染防止対策のため、頭と足を交互にして眠る子どもたち

「密なかかわり」どこまで

身体的距離の確保や3密の回避を柱とする「新しい生活様式」には徐々に浸透しつつあるが、子どもとの密接なかわりが求められる保育現場では、実践が難しい部分もある。子どもの健やかな成長と、感染リスクの低減をどう両立させるか、保育現場では模索が続いている。

空けるよう求めているが、子どもは他の子どもと一緒に遊ぶのが好きで、泣いて抱っこを求めたりもする。乳児はおもちゃをなめる。新野園長は「子どもは遊びの中で社会性を身に付けていきます。感染防止対策を工夫しつつ、これまで通り自由に遊ぶことも尊重していきたい」と話す。

寄り添い方に工夫を

に、新しい生活様式と保育士の働き方改革を両立させることも、今後の課題です。非接触型の体温計や事務作業の電子化など、デジタルの活用も負担軽減の一つの方法でしょう。

道内感染目安満たさず 国宣言解除後、警戒継続呼び掛け

道は新型コロナウイルスを巡り、10日から都市間往來などの制限を解除した。道内の直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数は、国が緊急事態宣言解除の目安とする基準「0.5人程度以下」を達成できていない状況が続いている。

往来制限解除 歓迎の声

道は新型コロナウイルスの感染対策について、都市間の往来を段階的に解禁する方針を掲げ、6月18日、道内全域で往来制限を解除した。

「宿泊税」の導入 美瑛町も先送り

【美瑛】上川管内美瑛町の角和清吉町長は18日の定例町議会、宿泊税の導入を当面見送る方針を明らかにした。

外国人富裕層頼み 岐路

高層ビルを建て、外国人富裕層を惹きつける。道内各地で進む観光地づくりは、新型コロナウイルスの影響で大きな岐路を歩んでいる。

アプリで接触通知きよう開始

政府は、新型コロナウイルスの感染者と濃厚接触した可能性を知らせるスマートフォンアプリの運用を16日から始める。

普及率向上が課題

間に濃厚接触があったかどうかの情報を確認できる。接触していれば、その日に通知が来る。体感不良を感じる人は、専門の相談窓口やPCR検査を受けるための案内を受けることも可能だ。

市町村のプレミアム付き商品券 道、最大10%助成へ

道は、新型コロナウイルスの影響を受けた地域経済への支援策として、道内市町村が発行するプレミアムについて、10%を上限に道が負担する方向で最終調整を行っている。

町財政にも不測の打撃

町財政にも不測の打撃。新型コロナウイルスの影響で、町財政は大きな打撃を受けている。町民生活も大きな影響を受けている。

七光星に輝きを

道、最大10%助成へ

道は、新型コロナウイルスの影響を受けた地域経済への支援策として、道内市町村が発行するプレミアムについて、10%を上限に道が負担する方向で最終調整を行っている。

町財政にも不測の打撃

町財政にも不測の打撃。新型コロナウイルスの影響で、町財政は大きな打撃を受けている。町民生活も大きな影響を受けている。

七光星に輝きを

